

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。

4 調査時点 令和4年3月31日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表1

高齢者人口は651,351人となっており、総人口が0.6%減少したのに対し、高齢者人口は0.8%増加している。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表2-1

高齢化率は28.8%で前年と比較して0.4ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は28.8%（令和2年10月1日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表2-2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(41.3%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(39.4%)、登米圏域(36.3%)、仙南圏域(35.1%)、石巻圏域(33.5%)、大崎圏域(33.3%)、仙台圏域(25.6%)となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表2-3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町(45.2%)、次いで丸森町(43.5%)、山元町(41.6%)、栗原市(41.3%)、松島町(39.6%)の順で、県内7割以上の27市町村が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(21.9%)で、次いで大和町(23.4%)、名取市(23.6%)、仙台市(24.7%)、利府町(24.8%)の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表3

在宅ひとり暮らし高齢者数は145,121人で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は22.3%となっている。